

開講年次・時期	1年後期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	演習	単位数	1単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	LA120	科目名	中国語Ⅱ	担当者名	胡 蘇紅
授業の概要	この科目は入門編を終了した学生のために、引き続き正しい発音することができる能力を身につけるようにする。そのための耳と口の徹底的な訓練過程で基礎的な語句や文を学びながら、単文を中心とした口語の基本文法をマスターすることを目的とする。口語の基本的な例文を繰り返し徹底的に学習し、例文のすべてを正確に音声化することで将来の運用能力養成の前提となるよう進めたい。				
科目の到達目標	・ この科目は、中国語Ⅰのあとをうけ、さらに一步進んだ中国語の基礎事項を学習することにある。引続き徹底した発音訓練を行うのはもとより、文法的には複文を含むやや複雑な文法に進む。「中国語能力検定試験」の4級に合格するように目指す。 ・ 中国語会話の学習を通じて、中国の文化・歴史・社会・生活・習慣などを理解する。視野を広め、異文化への理解をより一層深めさせ、国際化する現代の社会に適応する人としてのあり方を考えさせる。				
DPの観点	①聴く力(20) ②表現力(20) ⑥専門知識・技能(60)				
授業時間外学修 (予習・復習)	毎日約30分の練習と復習が必要。				
フィードバックの方法	総合テストの結果について教務課を通して通知する。				
単位認定の要件	授業態度、学習意欲、そして期末試験の成績により単位認定の要件とする。				
評価の方法・割合 (%)	1. 期末試験 70% 2. 授業内課題 30%				
履修上の注意事項	事前の予習、事後の復習必要あり				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			第10課 出来事を尋ねる② 1. 様態補語 2. “是～的”“～なのです”	①②⑥	会話
2			第11課 希望を尋ねる 1. 助動詞“想”“～したい” 2. 動作の完了を表す“了”“～した” 3. 前置詞“在”“～で”	①②⑥	会話
3			第12課 行き方を尋ねる 1. “怎么”“どうやって”“どのように” 2. 選択疑問文“AそれともB?” 3. 前置詞“给”“～に”	①②⑥	会話
4			第13課 経験を尋ねる 1. 時量補語 2. 経験を表す“过”“～したことがある” 3. 二重目的語をとる動詞 “给”	①②⑥	会話
5			復習 Ⅲ	①②⑥	練習問題の提出
6			第14課 相手の都合を尋ねる 1. 助動詞“会”“～できる” 2. 助動詞“能”“～できる” 3. 連動文(2)方法・手段を表す	①②⑥	会話
7			第15課 比較する 1. 比較を表す“比” 2. 反復疑問文 3. 名詞を修飾する“的”	①②⑥	会話
8			第16課 条件・情報を尋ねる① 1. 前置詞“离”“～から／～まで” 2. “有点”“ちょっと”	①②⑥	会話
9			第16課 条件・情報を尋ねる② 1. 比較を表す“没有” 2. 動詞の重ね型	①②⑥	会話
10			第17課 進行状況を尋ねる① 動作の進行を表す副詞“在”	①②⑥	会話
11			第17課 進行状況を尋ねる② 結果補語	①②⑥	会話
12			第18課 別れを告げる① 助動詞“要”“～しなければならない”	①②⑥	会話
13			第18課 別れを告げる② 変化を表す“了”	①②⑥	会話
14			復習 Ⅳ	①②⑥	練習問題の提出
15			総合復習	①②⑥	練習問題の提出
期末試験			筆記試験	①②⑥	

使用テキスト	『できる・つたわる コミュニケーション中国語』
参考文献 参考URL	・音声ダウンロードURL: https://www.hakusuisha.co.jp/news/n49364.html ・動画URL: https://onl.la/2e3rVK3 ・その他は随時に指示
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--